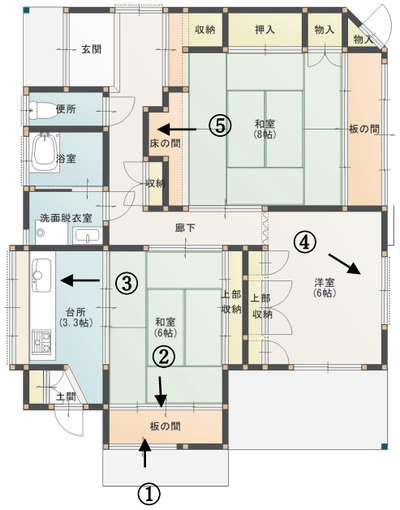
奨　励　賞

二世代にわたる終の棲家

第30回
住まいのリフォームコンクール

リフォーム前

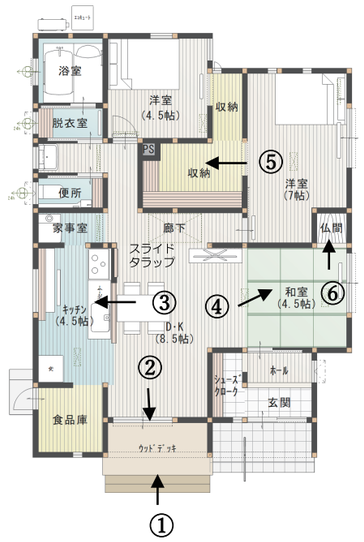
①改修前　築５０年の家。増改築を繰り返してきた。



リフォーム後

①改修後　住みやすい家になりました。

②壁付け照明を採用したことにより、
落ち着いた雰囲気に



◎お客様のねがい

- ５０代の娘夫婦が８０代の両親と住むために築 50 年の家の全面リフォームを希望。
- 伊佐市は盆地のため「鹿児島の北海道」と呼ばれるほど寒暖差が激しい土地柄。夏涼しく冬暖かい家を目指し、ＯＭソーラー社のパッシブエアコンを採用。
- 家の建坪が小さいため、少しでも広く見えるように天井高を上げ、玄関とホールの面積を最小にして部屋面積を広げたい。
- 日常和室から氏神様にお参りできるように東側の窓は掃き出し窓にしたい。
- 高齢の両親がいるのでオール電化・バリアフリーを採用。

②和室６帖から見た板の間。日当たりの一番いい場所

◎内装のこと

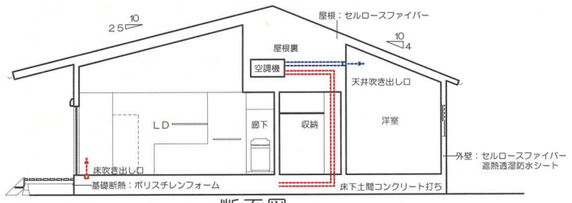
- 鹿児島県産材の杉板 12mmを採用、構造材は県産材。
- サッシは全て Low-e 複層ガラス・アルミ樹脂複合を採用。
- 玄関ドアは入りやすいようにスライディングドア。FIX 付きで玄関が明るくなった。
- 天井裏にある空調機器の点検と小屋裏収納の出入りをスムーズに行えるようにスライドタラップを設置。
- 吹抜けにはあえてダウンライトを設けず、壁付け照明にすることでほんのり明るく落ち着いた雰囲気になるよう計画した。
- リビングの壁紙は部屋の湿気を外になるべく出せるよう通気性壁紙を採用。

③対面キッチンを採用。キッチンはＩＨでオール電化の家。

④氏神様のお参りがスムーズに出来るよう掃き出し窓。

⑤採光を期待できない家の中心に収納を設置。パイプスペースも収納。

⑥仏間には、既存住宅で使われていた落とし掛けを再利用。上部棚には仏像を置きます。

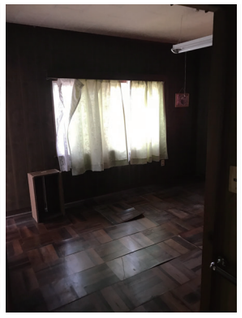


断面図

全館空調が十分機能するように建物を魔法瓶のように高断熱仕様でラッピングした。

屋根・外壁にセルロースファイバーを現場吹付。サッシは全て取替。

③独立した台所。



④洋室床板がはがれてきている。

⑤和室８帖の床の間には、ご両親が大切にしてきた仏像が並びます。

外壁面に耐力面材を設置。

サイディング下地は
遮熱透湿防水シート。

設計施工のポイント（増改築等の工夫）

◎家の性能をあげるために

- 断熱材：屋根・壁には、新聞紙をリサイクルした木質繊維系多機能セロースファイバー断熱材を採用。
- 耐震補強と通気層の確保をするために筋交い＋耐力面材を採用。
- 骨組になるまで解体し、屋根も重い瓦から軽いガルバニウム鋼板へ葺き替えた。
- 全館空調が機能するように断熱材を強化し、建具を減らし空気がスムーズに循環するようにしたが、プライバシーも確保できる間取りにした。
- 基礎からの空気が部屋に入ってくるため、人体に影響のないホウ酸を用いた防腐防蟻処理を採用。土台・大引・床板・面材・柱・間柱・根太に塗布した。
- 床下に防湿シートと土間コンクリートを打設。
- 一部ベタ基礎を採用。

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
株式会社タケシタ	竹下建築設計事務所	株式会社タケシタ	５０年	在来木造	一戸建て	２０２０年２月	１５０日間	1,７６０万円	伊佐市	全面リフォーム＋増築